2022 年新年特別号(2280 号)
12 月 25 日・1 月 5 日合併号

(毎月 5、15、25日発行)

1950 年 12 月 16 日第三種郵便物認可

1 部 140 円月額 400 円(郵便料金月額 126 円)

平和新聞

京都版

発行 日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX03(3451)6277
振替 00100-4-83731
E-Mail (編集部)heishin@j-peace.org
http://j-peace.org

E-mail:kyo-hei@crest.ocn.ne.jp 編集 京都平和委員会 Tel 075-811-3203 Fax 075-811-3213

2022 年、核兵器禁止条約の日本政府批准を求める運動をバネに、京都平和委員会の運動をさらに大きく広げよう！

昨年 1 月 22 日、核兵器禁止条約の発効を祝い、円山公園において日本政府の批准を京都市民にアピール

２０２２年新年のご挨拶

京都平和委員会事務局長　川上　裕光

京都平和委員会のみなさん、２０２２年新年あけましておめでとうございます。新年にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年一年間は、引き続くコロナ禍で始まりました。そして、国民生活が危機に瀕している中、時の政権による無為無策がこれほどまでに露わになった年はなかったのではないでしょうか。

現政権は、無責任なコロナ対策で医療危機を招いたことに対しまったく無反省な態度をとっています。コロナ禍での命の危機にたいして、国民の命よりも軍事を優先し、６兆円を超える軍事費を新年度予算で計上しようとしています。更には、戦争する国づくりを目指し、「敵基地攻撃」大軍拡を推進し、憲法９条改悪をしゃにむに進めようとしています。このような危険な改憲、大軍拡路線は許すわけにはいきません。

現政権は、全国各地で発生している米軍基地による住民被害を顧みず、日米地位協定改定を拒否しています。とりわけ、沖縄県の玉城知事が辺野古新基地工事に関する国の設計変更不承認を決定したことに対し、国は沖縄県民の意思をまったく無視して、完成の見込みがない工事を莫大な費用をかけて強行しようとしています。また安倍政権から続く、森友疑惑をはじめとした数々の疑惑にふたをし、また、根拠も示さず学術会議会員の任命を拒否し続けています。

安倍内閣、菅内閣そして岸田内閣と続く自公政権の悪政を一刻も早く終わらせなければなりません。

私たち国民も動き出しました。昨年１月２２日、ついに核兵器禁止条約が正式に発効しました。核兵器を保有することが国際法上違法となりました。被爆者をはじめとした多くの国民、世界の人々の世論と運動が大きな力となりました。核兵器禁止条約に背をむける日本政府の姿勢を変えさせなければなりません。昨年秋に行われた総選挙では、市民と立憲野党との間で政策合意を結び政権交代を目指す選挙となりました。私たち日本平和委員会が掲げる要求を政権交代で実現させる取り組みでした。選挙結果は政権交代には至らず、残念でしたが、この道にこそ日本の未来があることがはっきりしたのではないでしょうか。

今年１年、息高く平和を守る運動、平和委員会を強く大きくする運動に共に力を合わせていきましょう！

最近の米軍・自衛隊の動き
2021年12月の「19日行動」（京都市役所前）でのスピーチから

片岡明（京都平和委員会理事長）

日米安保条約を基軸とする「日米同盟」を強化する路線で、政府は「敵基地攻撃」を含めた大軍拡を計画し、「重要土地等調査法」や「戦争法」だけでなく「戦争する国づくり」の改憲を企んでいます。そして日米共同声明のもと「日米間、多国間の実戦的な演習」の強化をしてきています。自衛隊単独の演習や日米の共同訓練、そして多国間の統合軍事演習へと拡大し、自衛隊も「新しい戦い方」に組み込まれ、日本国中、京都も演習場になっている実態があります。経ヶ岬や舞鶴での警備訓練、舞鶴でのフェリーによる部隊移動、宇治への迎撃ミサイル展開、京都市上空も軍用機が飛行しています（京都民報12月5日記事参照）。

とくに経ヶ岬ではテロリストが侵入したとかサリンを積んだドローンが飛んでくるといった、住民の不安をあおるような戦闘訓練が展開されました。発電機の騒音だけでなく、機関銃を撃つなど物々しい音や姿に、安全安心が脅かされていると思います。

それから、福知山の自衛隊射撃場でおこなわれる米軍による実弾射撃訓練では、米軍人が運転する車両が訓練終了後に、射撃場からバラバラと基地に帰っていくことがありました。不測の事態に対応できるよう車列を組んで防衛局がついている、という当初の約束に違反しています。このことを改めさせるよう、憲法共同センターで11月29日に京都府に申し入れた後、12月7，8，9日におこなわれた実弾射撃訓練では、米軍も車列を組んで基地に帰るように是正された、と現地から連絡をもらっています。米軍の好き勝手な行動で、府民の安全安心が脅かされる実態があるわけですから、知事は米軍基地への協力はやめるべきで、基地撤去をもとめるべきです。全国知事会などで日米地位協定改定を要請しているだけでなく、京都府の知事として府民の安全安心を確保するよう身体をはって、住民に寄りそう姿勢が必要だと思います。（福知山平和委員会のニュースを参照）

まして、いまはコロナ対策で力を合わせるべき時に、軍事演習などやっている場合ではありません。米軍の出入国は水際どころか、基地を経由してどこでも行ける状態で、こんなことを放置してはいけません。沖縄の海兵隊基地で158人が感染するというクラスターが発生しています（12月18日現在）。それと、軍事緊張が高まっているというなら、軍事的対抗を強めるのではなく、緊張を低める平和外交を攻勢的にすすめるべきではないでしょうか。核兵器禁止条約が発効し、条約加入国は増え続けています。保有国との「橋渡し」をするというなら締約国会議にオブザーバーででも参加すべきです。日本国政府に条約加入を働きかけるなど、府民をまもる立場で働く京都府知事をたてていこうではありませんか。ともにがんばりましょう。

《緊急アピール》
沖縄・名護市長選挙支援カンパにご協力を！

今年1月16日告示、23日投開票で沖縄・名護市長選挙が行われます。辺野古の米軍基地建設中止、生物多様性に富む辺野古・大浦湾の海を守り、豊かな名護市を目指す「オール沖縄」の候補が、基地容認の現職に挑みます。支援のカンパをお寄せください。

《カンパの方法》
○名護市長選挙支援カンパ」袋に
○下記の口座に振り込み
◇労金近畿ろうきん京都支店／口座番号：８７８８７０６／口座名：安保破棄京都実行委員会
◇郵便振替／口座番号：０１０１０-２-３０７３５／口座名：安保破棄京都実行委員会

《京都平和委員会、京都原水協より新春の行動案内》

新年にふさわしく、みんなで学び行動に参加しましょう！

○２０２２年NPT再検討会議に呼応して、核兵器全面廃絶実現、核兵器禁止条約への署名・批准を求める「新春共同行動」
１月４日（火）、１４時～１５時／　四条河原町（高島屋前）

○核兵器禁止条約発効日に呼応しての「新春共同行動」
１月２２日（土）、　１４時～１５時／　四条河原町（高島屋前）

○「2022年関西原水協学校オンライン」１月３０日（日）、１０時～１５時
核兵器廃絶への展望と「黒い雨訴訟」について学びましょう　（主催：京都原水協）

○「京都平和委員会会員の集い」（オンライン）
日時：２月５日（土）、１４時～１６時　／会場：ラボール京都４階９会議室
－「平和新聞」編集長、有田崇浩さんのお話　（主催：京都平和委員会）

＊参加ご希望の方は京都原水協、京都平和委員会まで
電話：０７５（８１１）３２０３、FAX：０７５（８１１）３２１３